

出張理科教室「JOMO 理科大好き特別授業」の実施について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、CSR活動の一環として、昨1月15日、当社研究開発センター(所在地:埼玉県戸田市/精製技術センター、潤滑油開発センター、バイオ研究センターおよび戸田管理センターで構成)の研究員を地元の小学校に講師として派遣し、出張理科教室「JOMO 理科大好き特別授業」を実施いたしました。
2. 戸田市では、理科好きの児童生徒を育成するため、2005年度から「理科大好き特別授業・研修会」を実施しております。これは、戸田市内に在住または在勤の民間企業の研究者等を同市内の小中学校に招き、驚きや感動のある実験など通じて、児童生徒の理科に対する興味や関心を高めようというものです。当社は、同市からの要請を受け、昨年から実施しております。
3. 今回は、「石油を科学する エーッ! そんなに変わるの?！」をテーマに、児童たちが理科そのものに関心を持てるよう実験を交えながら、石油製品の特性などについて、当社の研究員が楽しくかつわかりやすく説明いたしました。
4. 「JOMO 理科大好き特別授業」の概要は次のとおりです。
 - (1)対象校:戸田市立笹目小学校(埼玉県戸田市笹目六丁目)
 - (2)日時:2008年1月15日(火)13:45~14:30
 - (3)参加児童:66名(小学6年生)
 - (4)講師:3名(当社研究員)
※他に実験のサポートとして社員8名を派遣。
 - (5)内容:
 - 「燃料だけじゃないよ石油製品」
石油製品にはどのようなものがあるかを実物により紹介するとともに、実験を通じて潤滑油の特性を体験。
 - 「邪魔者を消すマジック」
活性炭による着色水溶液の脱色実験により、汚れたものをきれいにする技術が石油製品にも役立っていることを紹介。
 - 「発泡スチロールを飲み込む」
発泡スチロールを溶剤に吸収させる実験を行い、様々な材料が石油から作られていることやリサイクルに石油が役立っていることを紹介。
 - (6)その他:上記授業の後、教職員(約20名)を対象として、原油情勢・石油業界の環境への取り組み・燃料電池・バイオ燃料および当日の授業に関する原理等について説明。

以上

●【参考資料】「JOMO 理科大好き特別授業」の様子

